

# 第 1 1 回（2021 年度第 3 回）支部執行委員会議事録

JCI 四国支部

1. 日 時 2022 年 1 月 31 日（月）15 時 00 分～16 時 20 分
2. 場 所 香川県生コンクリート工業組合（Web 会議）
3. 出席者 支部長：橋本親典  
幹事：氏家勲，大内雅博，岡崎慎一郎，武田融昌，林和彦，富田雄一  
藤井禎，古田満広，横井克則，渡辺健  
執行委員：朝倉光司，小川浄，川島恭志，河合慶有，熊沢敬輔，鈴木卓  
中川裕之，中村康一，福山裕史，松並徹，吉田秀典，吉田幸稔  
本部理事：松島学  
事務局：新居宏美

計 25 名

## 4. 配付資料

- 資料 1 第 10 回支部執行委員会議事録（案）
- 資料 2 第 11 回支部幹部会議事録（案）
- 資料 3 2021 年度事業報告（案）12 月末現在
- 資料 4 令和 3 年度 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会 委員一覧
- 資料 5 令和 3 年度第 1 回 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会議事録
- 資料 6 コンクリート関連企業への就職者数調査
- 資料 7 四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】活動報告
- 資料 8 材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会議事録（2021 年度第 1 回）
- 資料 9 材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会議事録（2021 年度第 2 回）
- 資料 10 コンクリートに関する技術情報交換会（ZOOM 会議）開催のご案内
- 資料 11 第 14 回コンクリート甲子園 本選集計表(最終結果)
- 資料 12 2021 年度収支決算（案）12 月末現在
- 資料 13 2022 年 1 月～3 月の収支予定
- 資料 14 2022 年度事業計画（案）
- 資料 15 2022 年度収支予算（案）
- 資料 16 2021 年度支部執行部
- 資料 17 年次大会 2024（高松）実行計画（案）
- 資料 18 支部規程
- 資料 19 支部執行部候補者推薦委員会規程
- 資料 20 支部交付金計算書 2022 試算（追加資料）

## 5. 審議事項

橋本支部長より支部執行委員会開催に当たり挨拶があり、その後、各議題について審議が行われた。審議結果は、以下のとおり。

(1) 第10回(2021年度第2回)支部執行委員会議事録の確認(資料1)

第10回支部執行委員会議事録(案)が確認され、支部HPに掲載することが承認された。

(2) 第11回(2021年度第1回)支部幹部会議事録の確認(資料2)

第11回支部幹部会議事録(案)が確認され、支部HPに掲載することが承認された。

(3) 2021年度事業報告(12月末)および収支決算案(12月末)について(資料3~13)

- ・ 2021年12月4日に開催された「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会(Web会議)」について、橋本支部長より以下のとおり報告がなされた。

①令和4年度モデル活動校として徳島県立つぎ高等学校が推薦された。令和5年度は高知県の高校が予定されている。②モデル活動校の支援額として今年度と同額の15万円を要望する。③次回から事務局が多度津高等学校から変更になるのでコンクリート甲子園実行委員会への補助金は停止するが、その代替として予選に出場する四国内の学校に総額で10万円を支援する。④コンクリート関連企業への就職者数調査結果を確認した。⑤委員会開催日を12月から8月頃に変更し、ZOOM会議形式を基本とする。⑥尾寄幹事長が退任し、令和4年度から高知高専の近藤先生が就任する。

提案・要望事項について審議した結果、モデル活動校支援額15万円が承認された。また、コンクリート甲子園予選出場校への支援については、予選出場を申請した学校に対し文書で支援制度について周知し、1校当たりの支援額の上限を2万円とすることが承認された。

コンクリート関連企業への就職者数調査結果について、過去6年間の合計で「生コン」8名に対し「製品製造系」が31名と圧倒的に多いのは、「製品製造系」のほうに事業所の規模が大きいことが要因として考えられるのではとの意見が出された。また、PC施工会社を「製品製造系」にカウントしていることにより高知高専における「製品製造系」就職数が多くなっているとの意見が出された。

- ・ 古田幹事より「四国の生コン技術力活性化委員会【第5期】」について、4グループの研究テーマ、2021年度活動実績と予定等について報告がなされた。
- ・ 「材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会」について、河合委員長より委員会を5月にオンラインで1回、12月に対面式で1回開催したこと、3月に開催予定の2021年度第3回委員会までに報告書(案)を各担当者が作成すること等が報告された。また、コロナ感染拡大により3月の委員会をオンライン形式とした予算執行を計画していることが報告された。
- ・ 林幹事より「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会(第2期目)」の取り組み状況について、2021年度中に1回目の委員会を開催できる

よう準備していること等が報告された。

- ・ 林幹事より「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」の成果報告会の準備進捗状況について、報告書はほぼ完成していること、オンデマンド型のオンライン講習会の開催時期はまだ決まっていないが 2021 年度中開催で準備していること等が報告された。
- ・ 古田幹事より「生セミナー i n 香川」について、3月から7月に延期し対面式で開催する方針が報告された。
- ・ 橋本支部長より「コンクリートに関する技術情報交換会 (Web 会議)」について、8月に試行し、11月に1回目を開催し申込者 40 名、当日の聴講者 30 名であったこと、1月26日の2回目も聴講者 30 名であったこと等が報告された。
- ・ 事務局より 2022 年 1 月～3 月の収支予定を加えた 2021 年度暫定収支決算について、支部の預金高が大きいため 2021 年 7 月に本部へ 800,000 円預託したこと、2021 年度も活動が少なく本部への預託金を含んだ 2022 年 3 月末繰越金予定を 2,609,595 円とすることが報告された。

#### (4) 2022 年度事業計画案および収支予算案について (資料 14, 15, 20)

事務局より 2022 年度事業計画案および収支予算案について説明があり、以下のとおり確認し、本部へ報告することが承認された。

##### ① 2022 年度事業計画案について

- ・ 支部幹部会をオンライン方式で 2 回開催する。
- ・ 2021 年度活動報告・収支決算および 2022 年度活動計画案・収支予算案を報告するため、オンライン方式で第 12 回支部執行委員会を 5 月 10 日に開催する。また、2023 年 1 月下旬に対面で第 13 回支部執行委員会を開催する。
- ・ 内部監査を以下のとおり対面で実施する。  
日 時：2022 年 4 月 9 日 (土) 11 時 00 分～  
場 所：香川県生コンクリート工業組合  
出席者：橋本支部長，堀井検査役，事務局

##### ・ 総会

コロナ禍のため、対面式の総会は開催しない。なお、第 12 回支部執行委員会承認後に 2021 年度活動報告・収支決算および 2022 年度活動計画案・収支予算案等を総会資料として HP へ掲載し活動内容を周知する。また、支部総会中止の会員への周知方法について、コンクリート工学誌における全支部総会の開催方法掲載を含め、昨年度実施した支部独自の方法を確認し対応することになった。

⇒ 昨年度の対応確認結果 (2021 年 2 月 1 日) : 個々の会員へのダイレクトメールは送付せず、支部 HP に掲載し周知した。

- ・ 研究委員会は常設 1 件，継続 2 件 (四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】の 3 年

目、四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会（第2期目）の2年目）が確認された。

- ・ 「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」の活動を、第12回支部執行委員会において報告し、発表用のpptスライドを支部HPで公開することが承認された。  
内容：多度津高校（モデル校）の取り組みおよび第14回コンクリート甲子園について  
報告者：尾寄先生（多度津高校）
- ・ 「四国の生コン技術力活性化委員会【第5期】」の成果報告会および活動10周年記念講演会を2023年3月頃に開催する。
- ・ 2021年度に開催できなかった「生コンセミナー in 香川」を共催事業として7月頃開催する。また、「生コンセミナー in 高知」は当初の予定どおり2022年度に共催することを高知生コン工組に連絡済であることが横井幹事より報告された。
- ・ 2021年度にスタートした「コンクリートに関する技術情報交換会（Web会議）」を2022年度上半期と下半期に1回ずつ程度開催する。日程および話題提供者の人选は橋本支部長に一任する。
- ・ コンクリート甲子園の事務局が多度津高校でなくなったため、第15回コンクリート甲子園の後援は辞退する。

## ② 2022年度収支予算案について

以下のとおり確認し、本部へ報告することが承認された。

- ・ 前期繰越収支差額を預託金800,000円を含め2,609,595円とする。
- ・ 「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」の成果報告書作成を2021年度実施済とし、その費用50,000円を差し引き講習会・講演会費300,000円に訂正する。
- ・ リモート関係調査費300,000円を0円に訂正する。
- ・ 訂正後の次期繰越収支差額を3,217,065円とする。

## (5) 2022年度四国支部執行部について（資料14, 15, 20）

1月13日に開催された支部執行部候補者推薦委員会で決定した候補者に対し橋本支部長より再任受諾の確認がなされ、本年5月が任期である検査役、支部幹事5名、支部執行委員7名全員が承諾した。また、2022年度本部総会（6月）において橋本先生に交代する松島現本部理事を本部総会後に支部執行委員に選任することが承認された。

## (6) 「コンクリートの品質向上を目指したCUS利用普及のための技術研究委員会」の成果報告書の支部HPへのアップについて（資料なし）

橋本支部長より提案された「コンクリートの品質向上を目指したCUS利用普及のための技術研究委員会」の成果報告書の支部HPへの無償でdownloadができるようにアップすることが承認された。これに伴い、DVD1部1000円の販売を中止する。

(7) JCI 本部理事会について (資料なし)

松島本部理事より「特になし」との報告がなされた。

(8) JCI 年次大会 2024 (高松) について (資料 17)

橋本支部長より年次大会 2024 の日程(2024 年 7 月 3 日～5 日)等について報告があった。  
また、本部において 2 月に開催される年次大会に関する会議に上田副支部長が出席予定であり、その内容について、次回の支部執行委員会で報告することが確認された。

以上

(記録者：古田 満広)